

『さよならの手ほどき』小林貴子

お別れね
振り返らずに行くわ
未練が無いとは言わないけれど
部屋の鍵はここに置いて行く
怖がらないで 連絡はしないから
冷めた珈琲 もう要らない
唇 微笑みに変えて
言葉は "ありがとう"
けそうな胸 気づかれないように
伝えるのがさよならの手解き

さよならは、いつも 突然で
心の準備ができないって言うけど
本当は 分かってた
ため息で 気付いてた
終わりの予感
コンパス もう効かない
尖ったプライド 邪魔になるだけ
最後の優しさ"ありがとう"
握りしめた夢 気づかれないように
手放すのがさよならの手解き

お別れね
振り返らずに行くわ
奇跡がないとは、言えないけれど
傷の跡もここに置いて行く
怖がらないで 誕生日は忘れるから

迷ってたはずなのに
夢のよう消えていく
二人の余韻

